

令和4年度

大学院自然科学研究科社会人学生アンケート

集計結果

(博士後期(博士)課程対象)

令和4年9月

新潟大学大学院自然科学研究科附属教育研究高度化センター

教育プログラム企画・検証改善部門

## 目次

I	アンケートの概要	1
II	アンケートの集計結果	2
III	アンケート調査票	16

## 1 アンケートの概要

### 1 調査目的

社会人学生の実態やマインドを調査し、今後の教育環境の充実や社会人を含めた博士課程入学者を増やすための施策を考えることを目的として実施

### 2 実施期間

2022年7月20日(水)～2022年8月10日(水)

### 3 実施方法

調査対象：自然科学研究科博士後期（博士）課程の社会人特別選抜により入学した令和4年度在学学生

調査方法：学務情報システムアンケート機能  
Excel形式のアンケートのメール送付

### 4 回答状況

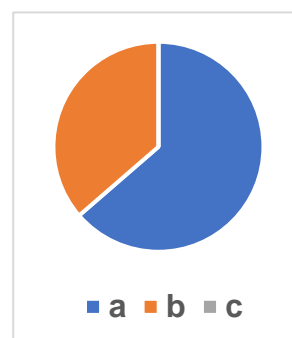
学生数：40人 回答数：11人(うち2人エクセル形式で回答)

回答率：27.5%

## II アンケートの集計結果

### 2. 博士前期課程（又は学部）在籍時との分野の違い

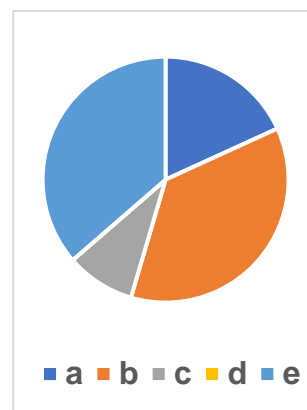
		人数
a	全く同じ分野への入学。	7
b	在籍時とは異なるが、近い分野への入学。	4
c	全く異なる分野への入学。	0



- 全員が博士前期課程と同じ分野または近い分野の博士後期課程に入学している。

### 3. 博士後期（博士）課程への入学を考えた時期

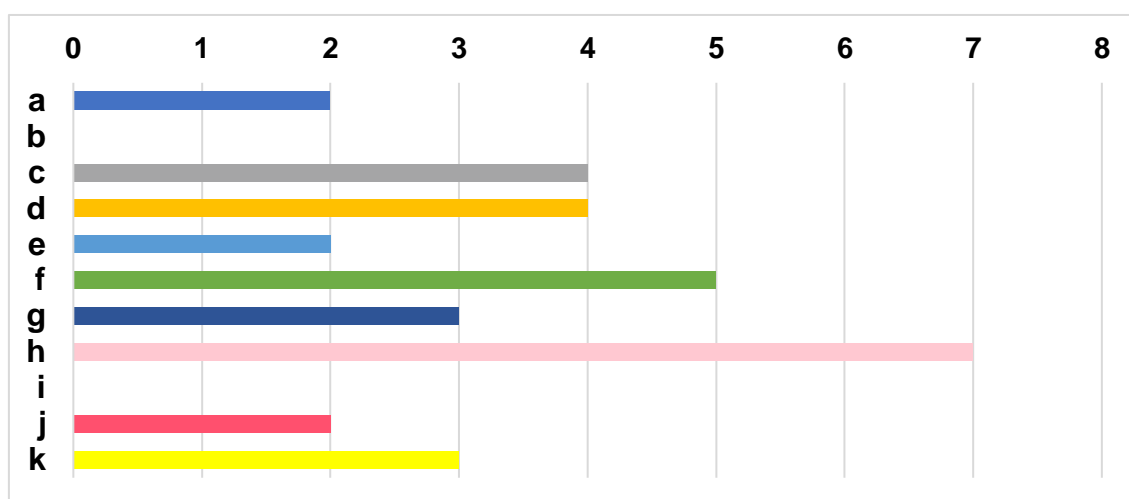
		人数
a	就職して、職場の上司等に言われてから。	2
b	就職してから、自分の希望。	4
c	博士前期（修士）課程学生の頃から。	1
d	学部学生の頃から。	0
e	その他	4



- 就職してから自分の希望で入学に至った学生が多い。
- その他が多いことから、個人の事情によるところが大きい。

#### 4. 博士後期（博士）課程への入学動機

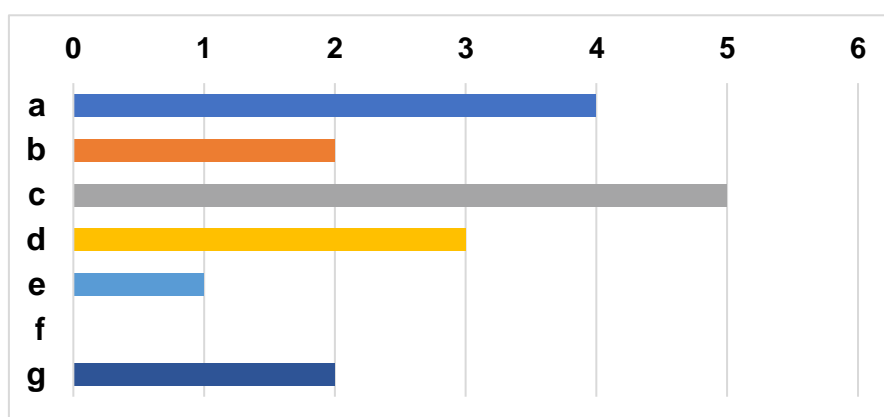
	人数
a 会社（所属機関）から勧められたから。	2
b 家族に勧められたから。	0
c もともと希望しており，会社（上司）を説得できたから。	4
d 今後社会で博士号が必要になると思うから。	4
e 博士号を取得していた方が会社（所属機関）で重要なポストに就けるから。	2
f 会社（所属機関）で必要な理論・技術等を博士課程で取得できるから。	5
g 働いて金銭的に余裕ができたから。	3
h 個人的にもっと勉強したかったから。	7
i 将来転職してアカデミアポストに就きたいから。	0
j 将来転職して別の企業に就職したいから。	2
k その他	3



- 「個人的にもっと勉強したかったから。」が7人と多い。
- 「会社（所属機関）で必要な理論・技術等を博士課程で取得できるから。」も5人と多い。

## 5. 博士課程に現役進学しなかった理由

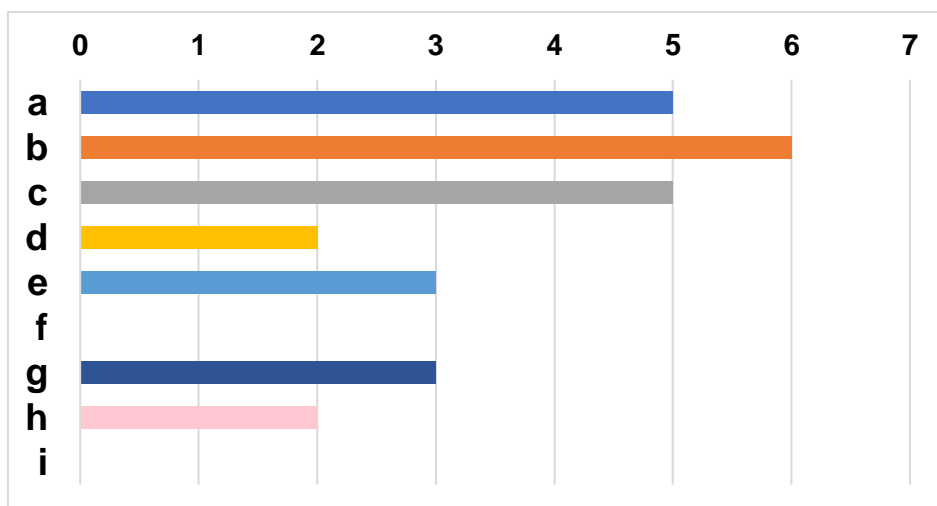
		人数
a	当時進学するための金銭的余裕はなかったから。	4
b	博士進学は全く考えなかったから。	2
c	博士に進学する能力は当時自分にはないと思っていたから。	5
d	現役進学したかったが、当時親を説得できなかったから。	3
e	博士進学すると就職口がないと思っていたから。	1
f	当初から社会人博士を目指していたから。	0
g	その他	2



- 「博士に進学する能力は当時自分にはないと思っていたから。」、「当時進学するための金銭的余裕はなかったから。」が多い。

## 6. 入学先に新潟大学を選んだ理由

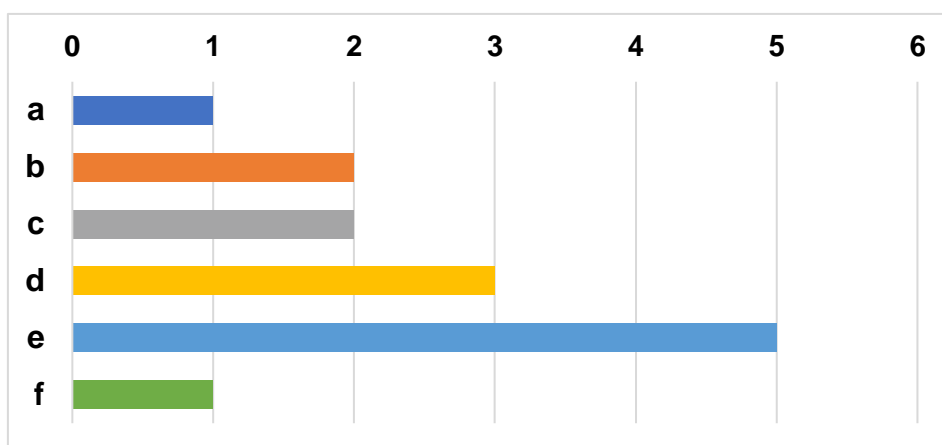
		人数
a	卒業生だから。	5
b	担当教員に魅力を感じたから。	6
c	会社（所属機関）と共同研究をやっていたから。あるいはやっているから。	5
d	研究業績が顕著な教員がいたから。	2
e	地理的に近いから。	3
f	教育メニューに魅力を感じたから。	0
g	仕事に活かせる研究で学位が取れそうだから。	3
h	現在の業務に近い研究をしている教官がいたから。	2
i	その他	0



- 「担当教員に魅力を感じたから」が6人と多い。
- 次いで、「卒業生だから。」「会社（所属機関）と共同研究をやっていたから。あるいはやっているから。」が5人と多い。

## 7. 入学を決めるまでに苦労した点

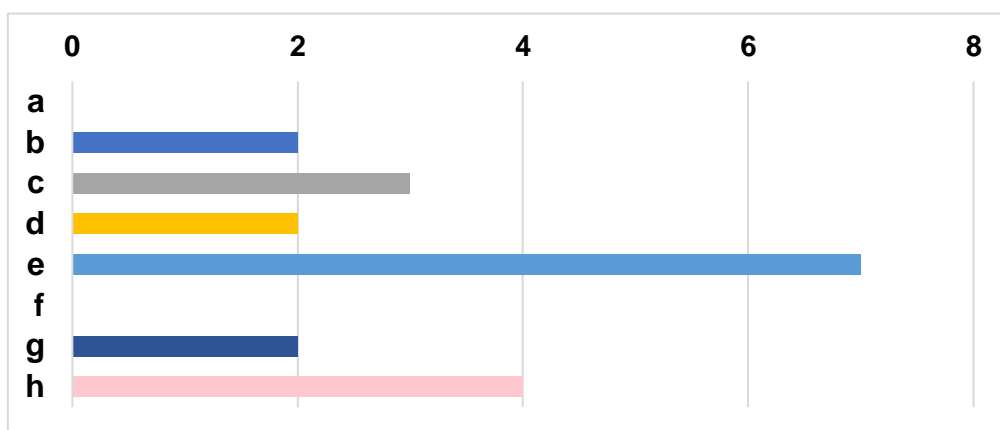
		人数
a	社内での選抜があった。	1
b	会社（上司）を説得するのが大変だった。	2
c	家族を説得するのが大変だった。	2
d	入学金・授業料を確保するのが大変だった。	3
e	特になかった。	5
f	その他	1





## 8. 入学後に苦労している点

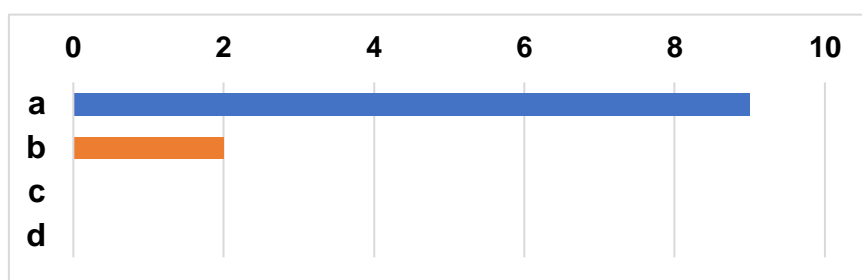
	人数
a 会社の方針が転換したため、博士課程在学を継続するのが難しくなっている。	0
b 金銭面で在学を継続するのが難しくなってきた。	2
c 長期履修制度で就業年限を伸ばしているが、それでも学位取得が難しくなりそうだ。	3
d 特例で授業時間を変更して履修の便を図ってもらっているが、それでも聴講したい授業が取れていない。	2
e 働きながらなので、スケジュール調整が難しく研究が進んでいない。	7
f 指導教員との意見の違いがある。	0
g 特にない。	2
h その他	4



- 「働きながらなので、スケジュール調整が難しく研究が進んでいない。」が7人と多い。「その他」にも業務多忙と記入があることから会社の業務と研究の両立に苦労している学生が多いようだ。
- 「その他」から、新型コロナウイルスの流行が社会人博士の研究環境にも影響を与えていることが窺える。

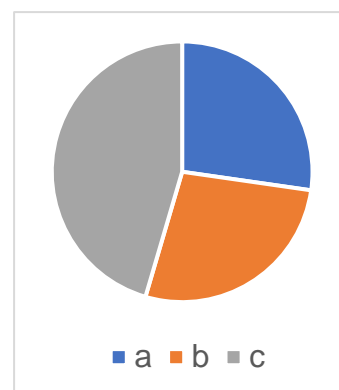
### 9. 入学金・授業料の出所

		人数
a	自費	9
b	会社（所属機関）	2
c	奨学金など所属機関以外から	0
d	その他	0



10-1. 会社（所属機関）の大学院入学を認める制度と金銭的補助の有無

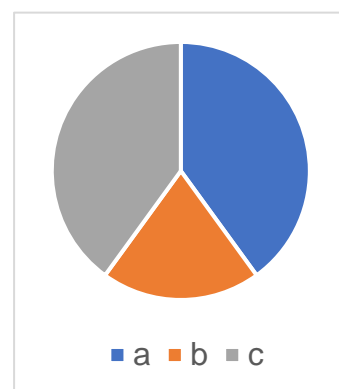
		人数
a	制度はある。金銭的な補助もある。	3
b	制度はあるが、金銭的な補助はない。	3
c	制度はない。	5



- 会社の制度や金銭的補助がなく入学している学生が多い。

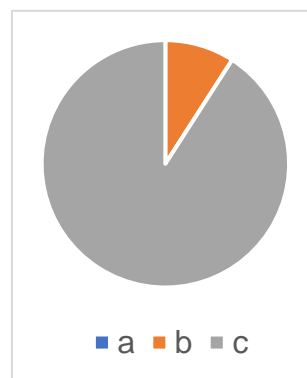
10-2. 会社からの金銭面での補助が入学の決め手になったか(上記質問で a と答えた学生)

		人数
a	決め手になった。	2
b	ある程度背中を押した。	1
c	全く関係なかった。	2



11. 現役進学は入学検定料や入学金が不要である。当時進学するときにそのような制度の存在を知っていたら利用していたか。

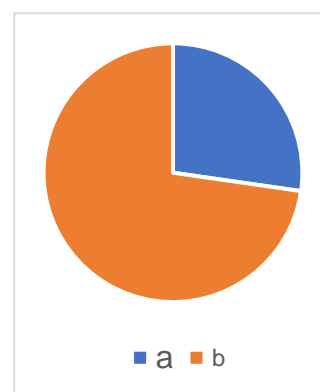
		人数
a	検定料や入学金が不要というのは知らなかった。知っていたら利用して現役進学していたと思う。	0
b	検定料や入学料が不要というのは知っていたが、それを利用してまで進学しようとは思わなかった。	1
c	そのような制度の有無に関わらず現役進学はしていなかった。	10



- 「そのような制度の有無に関わらず現役進学はしていなかった。」が 10 人と圧倒的に多い。

12. 当時進学するときに博士課程の学生を対象とする返還不要の奨学金制度(学振 DC, フェローシップ等)があったら、あるいは知っていたら利用していたか。

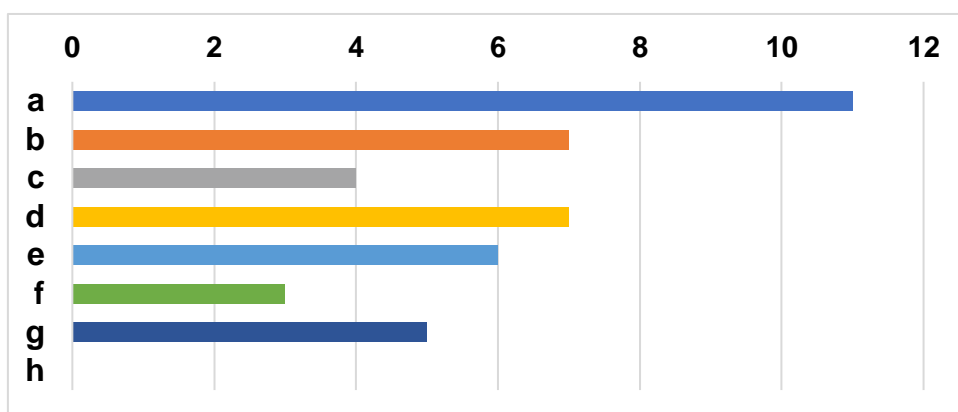
		人数
a	その制度を利用して現役進学していたと思う。	3
b	そのような制度の有無に関わらず現役進学はしていなかった。	8



- 「そのような制度の有無に関わらず現役進学はしていなかった。」が 8 人と多い。設問 5, 11 の結果も踏まえると、現役進学しなかった理由は金銭的な理由のみではないようだ。

13-1. 社会人学生のメリット

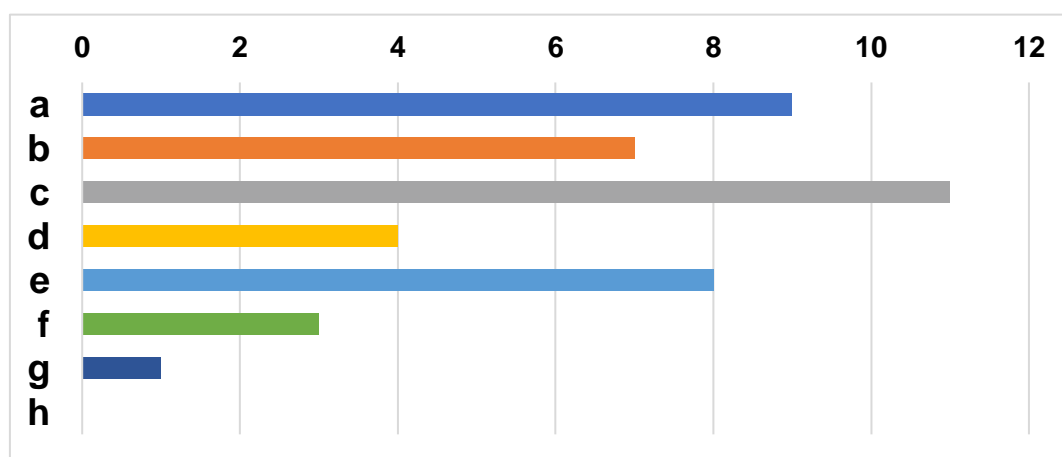
		人数
a	一度社会に出ているので経験を活かせる。	11
b	親に経済的な負担をかけなくてよい。	7
c	会社（所属機関）からの補助が期待できる。	4
d	応用研究に直接つながることができる。	7
e	研究テーマをある程度自分の希望に沿ったものに自由に選べる。	6
f	共同研究につなげることができる。	3
g	企業と大学との懸け橋になることができる。	5
h	その他	0



- 回答者全員が「一度社会に出ているので経験を活かせる。」を選択している。

### 13-2. 社会人学生のデメリット

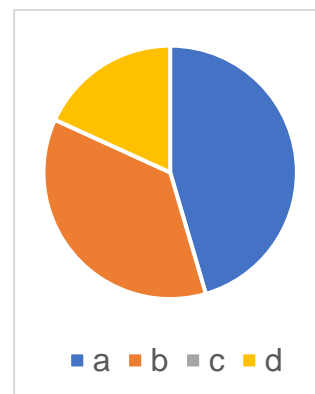
		人数
a	研究に充てられる時間が少ない。	9
b	会社（所属機関）との調整が難しい。	7
c	業務が多忙である。	11
d	奨学金等を受けにくい。	4
e	年齢的に若くない。	8
f	家族の理解を得なければならない。	3
g	会社の業績によって学費の捻出が難しくなる懸念がある。	1
h	その他	0



- 回答者全員が「業務が多忙である。」を選択している。そのほか、「研究に充てられる時間が少ない。」、「会社（所属機関）との調整が難しい。」が多く、多忙で研究と仕事の両立に苦労しているようだ(設問 8 の結果と重複)。
- 「年齢的に若くない。」が 8 人と多い。

14. 修了後、学んだことは職場で生かせそうか。

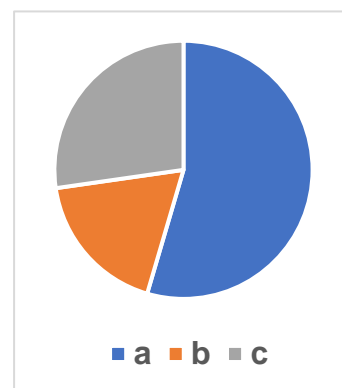
		人数
a	大いに生かせる。	5
b	まあまあ生かせる。	4
c	それほど生かせない。	0
d	そういう目的ではない。	2



- 「大いに生かせる。」「まあまあ生かせる。」は9人と多い。
- 職場で生かすために入学したのではない学生もいる(設問4の結果とも重複)。

15. 今後社会全般で、社会人学生は増えていくと思うか。

		人数
a	増えていく	6
b	減っていく	2
c	変わらないと思う	3

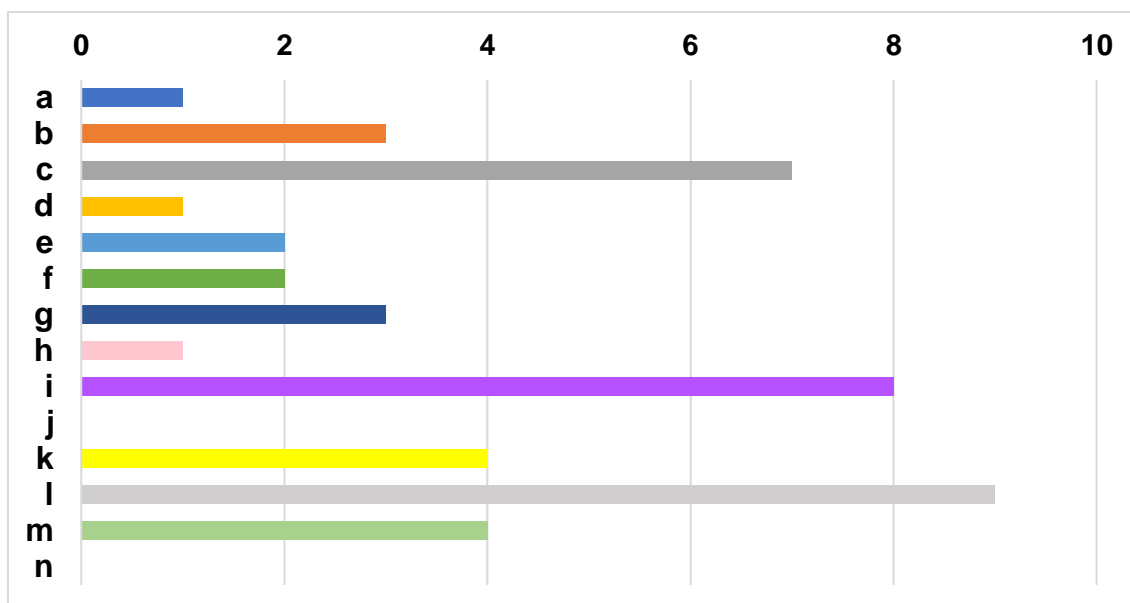


- 増えていくと答えた人が多い。「企業の価値観の変化」「専門性を重要視する社会への遷移」「制度の充実」といった理由が挙げられた。
- 減っていく・変わらないと答えた人は「少子化による人口減少」「日本の経済状況」「強い意志が必要」などの理由を挙げている。



16. 今後新潟大学大学院での社会人学生を増やすためには、どのようなことが必要だと思うか

	人数
a 現状維持でよい。	1
b 社会や企業が必要とする技術等を教えた方がよい。	3
c 企業との共同研究などを積極的に行った方がよい。	7
d 基礎的なインパクトのある研究を推進した方がよい。	1
e 社会に実装されるべき応用研究を推進した方がよい。	2
f 国際化を推進した方がよい。	2
g 一般学生との交流の機会を増やした方がよい。	3
h 教育メニューにもっとバリエーションがあった方がよい。	1
i 社会人学生が履修できる授業を増やした方がよい。	8
j 教員のレベルを上げた方がよい。	0
k 他大学と比べた新潟大学の特徴をPRした方がよい。	4
l 社会人学生を受け入れていることを広くPRした方がよい。	9
m 研究設備を充実した方がよい。	4
n その他	0



- 「社会人学生を受け入れていることを広くPRした方がよい。」が9人と多い。
- 次いで「社会人学生が履修できる授業を増やした方がよい。」、「企業との共同研究などを積極的に行った方がよい。」が多い。

### III アンケート調査票

#### レポート・小テスト・アンケート作成／一般アンケート 回答

タイトル	令和4年度自然科学研究科博士後期（博士）課程社会人学生アンケート
見出し	このアンケートは、自然科学研究科博士後期（博士）課程の社会人特別選抜により入学した学生への調査です。本研究科が社会人学生の実態やマインドを調査し、今後の教育環境の充実や社会人を含めた博士課程入学者を増やすための施策を考えるために必要な情報として、調査・分析に活用します。 以上を踏まえ、アンケートに回答される場合は、新潟大学プライバシーポリシー（ <a href="https://www.niigata-u.ac.jp/privacy/">https://www.niigata-u.ac.jp/privacy/</a> ）に同意のうえ、ご回答ください。 なお、回答が成績評価等に影響することはありませんので、すべての設問に素直にお答えください。 設問は17問で、所要時間の目安は5分程度です。 また、アンケートの締切日は、8月10日（水）となります。よろしく申し上げます。
添付ファイル	
結果確認時参照ファイル	

1:在籍番号を教えてください。【記述式 8文字以内】（必須）

入力文字数：0文字

2:博士前期（修士）課程（又は学部）在籍時と同じ分野への入学ですか？【3者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  全く同じ分野への入学。
2.  在籍時とは異なるが、近い分野への入学。
3.  全く異なる分野への入学。

3-1:博士後期（博士）課程への入学を考えたのはいつ頃からですか？【5者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  就職して、職場の上司等に言われてから。
2.  就職してから、自分の希望。
3.  博士前期（修士）課程学生の頃から。
4.  学部学生の頃から。
5.  その他

3-2:3-1の質問でその他と答えた方は博士後期（博士）課程への入学を考えた時期をご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数：0文字

4-1:博士後期（博士）課程への入学動機を教えてください。（複数回答可）【11者択11】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  会社（所属機関）から勧められたから。
2.  家族に勧められたから。
3.  もともと希望しており、会社（上司）を説得できたから。
4.  今後社会で博士号が必要になると思うから。
5.  博士号を取得していた方が会社（所属機関）で重要なポストに就けるから
6.  会社（所属機関）に必要な理論・技術等を博士課程で取得できるから。
7.  働いて金銭的に余裕ができたから。
8.  個人的にもっと勉強したかったから。
9.  将来転職してアカデミアポストに就きたいから。
10.  将来転職して別の企業に就職したいから。
11.  その他

4-2:4-1の質問でその他と答えた方は博士後期（博士）課程への入学動機をご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数：0文字

5-1:現役進学（進学者選考）で、博士課程に進学しなかった理由は何ですか？（複数回答可）【7者択7】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  当時進学するための金銭的余裕はなかったから。
2.  博士進学は全く考えなかったから。
3.  博士に進学する能力は当時自分にはないと思っていたから。
4.  現役進学したかったが、当時親を説得できなかったから。
5.  博士進学すると就職口がないと思っていたから。
6.  当初から社会人博士を目指していたから。
7.  その他

5-2:5-1の質問でその他と答えた方はその理由をご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数：0文字

6-1:入学先に新潟大学を選んだ理由は何ですか？（複数回答可）【9者択9】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  卒業生だから。
2.  担当教員に魅力を感じたから。
3.  会社（所属機関）と共同研究をやっていたから。あるいはやっているから。
4.  研究業績が顕著な教員がいたから。
5.  地理的に近いから。
6.  教育メニューに魅力を感じたから。
7.  仕事に活かせる研究で学位が取れそうだから。
8.  現在の業務に近い研究をしている教官がいたから。
9.  その他

6-2:6-1の質問でその他と答えた方はその理由をご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数：0文字

7-1:入学を決めるまでに苦労した点があれば教えてください。（複数回答可）【6者択6】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  社内での選抜があった。
2.  会社（上司）を説得するのが大変だった。
3.  家族を説得するのが大変だった。
4.  入学金・授業料を確保するのが大変だった。
5.  特になかった。
6.  その他

7-2:7-1の質問でその他と答えた方は苦労した点をご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数：0文字

8-1:入学後に苦労している点があれば教えてください。（複数回答可）【8者択8】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  会社の方針が転換したため、博士課程在学を継続するのが難しくなっている。
2.  金銭面で在学を継続するのが難しくなってきた。
3.  長期履修制度で就業年限を伸ばしているが、それでも学位取得が難しくなりそうだ。
4.  特例で授業時間を変更して履修の便を図ってもらっているが、それでも聴講したい授業が取れていない。
5.  働きながらなので、スケジュール調整が難しく研究が進んでいない。
6.  指導教員との意見の違いがある。
7.  特にない。
8.  その他

8-2:8-1の質問でその他と答えた方は苦労している点をご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数：0文字

9-1:入学金・授業料の出所はどこですか？（複数回答可）【4者択4】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  自費
2.  会社（所属機関）
3.  奨学金など所属機関以外から
4.  その他

9-2:9-1の質問でその他と答えた方は入学金・授業料の出所をご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数：0文字

10-1:会社（所属機関）に大学院入学を認める制度がありますか？ある場合には、会社から金銭面での補助はありますか？【3者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  制度はある。金銭的な補助もある。
2.  制度はあるが、金銭的な補助はない。
3.  制度はない。

10-2:10-1の質問でaを選択した方。会社からの金銭面での補助が入学の決め手になりましたか？【3者択1】※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  決め手になった。
2.  ある程度背中を押した。
3.  全く関係なかった。

11:現役進学（進学者選抜）では入学検定料や入学金が不要です。当時皆さんが進学するときにそのような制度の存在を知っていたら利用していましたか？【3者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  検定料や入学金が不要というのは知らなかった。知っていたら利用して現役進学していたと思う。
2.  検定料や入学料が不要というのは知っていたが、それを利用してまで進学しようとは思わなかった。
3.  そのような制度の有無に関わらず現役進学はしていなかった。

12:最近では学振DC、フェローシップなど博士課程の学生を対象とする返還不要の奨学金制度が充実してきています。当時皆さんが進学するときにそのような制度があったら、あるいは知っていたら利用していましたか？【2者択1】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  その制度を利用して現役進学していたと思う。
2.  そのような制度の有無に関わらず現役進学はしていなかった。

13-1-1:現役進学と比べて、社会人学生のメリットはどこにあると感じますか？（複数回答可）【8者択8】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  一度社会に出ているので経験を活かせる。
2.  親に経済的な負担をかけなくてよい。
3.  会社（所属機関）からの補助が期待できる。
4.  応用研究に直接つなげることができる。
5.  研究テーマをある程度自分の希望に沿ったものに自由に選べる。
6.  共同研究につなげることができる。
7.  企業と大学との懸け橋になることができる。
8.  その他

13-1-2:13-1-1の質問でその他と答えた方は社会人学生のメリットをご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数：0文字

13-2-1:現役進学と比べて、社会人学生のデメリットはどこにあると感じますか？（複数回答可）【8者択8】（必須）※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  研究に充てられる時間が少ない。
2.  会社（所属機関）との調整が難しい。
3.  業務が多忙である。
4.  奨学金等を受けにくい。
5.  年齢的に若くない。
6.  家族の理解を得なければならない。
7.  会社の業績によって学費の捻出が難しくなる懸念がある。
8.  その他

13-2-2:13-2-1の質問でその他と答えた方は社会人学生のデメリットをご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数：0文字

14:修了後に会社(所属機関)に戻った時に、学んだことは職場で生かせそうですか?【4者択1】(必須)※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  大いに生かせる。
2.  まあまあ生かせる。
3. それほど生かせない。
4.  そういう目的ではない。

15-1:今後社会全般で、社会人学生は増えていくと思いますか?理由も教えてください。【3者択1】(必須)※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  増えていく
2.  減っていく
3.  変わらないと思う

15-2:理由記入欄【記述式 500文字以内】(必須)

入力文字数:0文字

16-1:今後新潟大学大学院での社会人学生を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか?(複数回答可)【14者択14】(必須)※最低1個の選択肢を選択してください。

1.  現状維持でよい。
2.  社会や企業が必要とする技術等を教えた方がよい。
3.  企業との共同研究などを積極的に行った方がよい。
4.  基礎的なインパクトのある研究を推進した方がよい。
5.  社会に実装されるべき応用研究を推進した方がよい。
6.  国際化を推進した方がよい。
7.  一般学生との交流の機会を増やした方がよい。
8.  教育メニューにもっとバリエーションがあった方がよい。
9.  社会人学生が履修できる授業を増やした方がよい。
10.  教員のレベルを上げた方がよい。
11.  他大学と比べた新潟大学の特徴をPRした方がよい。
12.  社会人学生を受け入れていることを広くPRした方がよい。
13.  研究設備を充実した方がよい。
14.  その他

16-2:16-1の質問でその他を選んだ方は社会人学生を増やすために必要だと思う事をご記入ください。【記述式 500文字以内】

入力文字数:0文字

17:その他、ご意見あれば何でも結構ですでお知らせください。【記述式 500文字以内】